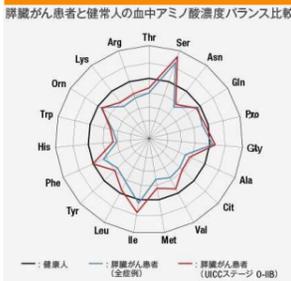


### Ⅲ. アミノインデックス・・・アミノ酸濃度のバランスから複数のがんリスクを評価

体内のアミノ酸バランスの違いによりがんのリスクを評価する新しいアプローチ

がんの物理的変化をとらえる画像診断や細胞診、腫瘍産生物が指標の腫瘍マーカー、HPV検査やピロリ菌検査などがんのリスクになり得るウイルスや菌の検査、遺伝子変異によるがんには遺伝子検査などがあります。アミノインデックスは健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析し、現在がんである可能性を評価しています。



#### アミノインデックス受診結果の留意点

アミノインデックスは、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。また、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、検査結果区分が「ランク A」でも100%がんではないとは言いきれません。また、「ランク B」や「ランク C」でも、必ずしも、がんである訳ではありません。がんになると共通に変化するアミノ酸があるため、ひとつの臓器にがんがある場合、複数のアミノインデックスの項目について「ランク B」や「ランク C」となることがあります。アミノインデックスの検査結果の解釈や必要な精密検査に関しては、その他の検査結果とともに総合的に判断して下さい。

#### アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査（血液検査）

血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がんである可能性を評価する検査です。早期のがんにも対応しています。

#### 評価対象がんとがん種別評価対象年齢

検査項目名称	評価対象がん	がん種別 評価対象年齢
男性 AICS[5種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25歳～90歳
	前立腺がん	40歳～90歳
女性 AICS[6種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳～90歳
	子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

※子宮がん・卵巣がんについては、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんであるリスクを評価することはできませんが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません

#### 注意事項

- 検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者（治療中を含む）の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、数値に影響が出ますので、検査は受けられません。
- 検査前8時間以内に、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないでください。
- 正しい検査結果を得るために、できるだけ検査当日朝の運動はお控えください。
- 薬剤の検査への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医にご相談の上、その指示に従ってください。

#### アミノインデックス検査結果報告書サンプル

このたび、受診いただきましたあなたのAICS®検査結果および現在がんである可能性をご報告させていただきます。

■検査結果

項目	AICS値	ランクA	ランクB	ランクC
AICS(胃)	3.2			
AICS(肺)	5.2			
AICS(大腸)	0.8			
AICS(膵臓)	8.7			
AICS(乳腺)	2.2			
AICS(子宮・卵巣)	2.2			

■がんである可能性

ランク	がんである可能性
ランクA	通常よりがんである可能性が低い (0.3～0.7倍)
ランクB	やや高い (1.3～2.1倍)
ランクC	高い (4.0～11.6倍)

●ランクについて知っておきたいこと

●AICS®の検査結果の判断について

■コメント

#### アミノインデックス検査料金

- アミノインデックス検査費用（男女共） 23,000円（税別）
- 男性：胃がん、肺がん、大腸がん、すい臓がん、前立腺がん
- 女性：胃がん、肺がん、大腸がん、すい臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん

最新  
血液検査  
総合案内

医療法人順秀会  
情報紙

# 医療通信

higashiyama

medicalpark imaie

moriyama

hoshigaoka

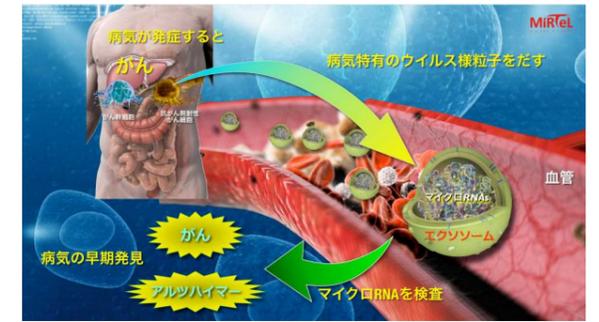
skyle

## 目次

最新血液検査総合案内 P.1  
ミアテスト P.2  
サインポスト P.3  
アミノインデックス P.4

### I. ミアテスト・・・がん細胞等から分泌されるマイクロRNAの種類や量を検査

画像では見えない段階からマイクロRNAの種類や量を指標に、疾患リスクを予測する検査です。がんの検査ができる部位は①肺②食道③胃④大腸⑤頭頸部（舌）⑥肝臓⑦膵臓⑧腎臓⑨甲状腺⑩脳⑪胆のう⑫前立腺⑬乳房⑭子宮頸部⑮卵巣、がん以外では、⑯アルツハイマー型認知症の検査が行え、これらを超早期で発見できる可能性がある血液検査です。



### II. サインポスト・・・遺伝子を分析し、一度に12の生活習慣病等のリスクを評価

食事や運動に気をつけていても生活習慣病になりやすい人もいれば、逆に何もしなくても生活習慣病になりにくい人もいます。その個々の体質を調べるのが「サインポスト遺伝子検査」です。高血圧や脂質異常症、糖尿病など生活習慣病と関連が高い分野にプラスして、血管性の病気やアレルギー、物忘れなど気になる遺伝的リスクを事前に知り、対策を可能にする健康管理の新しい血液検査のご提案です。



### Ⅲ. アミノインデックス・・・アミノ酸濃度のバランスから複数のがんリスクを評価

人のからだは約60%が水分で、約20%がたんぱく質でできています。また、人のからだを構成しているたんぱく質は、20種類のアミノ酸から作られています。健康な人の血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされています。しかし、さまざまな病気になると、一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスが変動することが分かっています。アミノインデックスは血液中のアミノ酸濃度バランスから、現在、がんになっているかのリスクを一度に判定する新しいアプローチの血液検査です。

健康な人は一定に保たれるようにコントロールされる血液中のアミノ酸バランス

健康状態が変化

様々な病気になるとアミノ酸バランスも変動

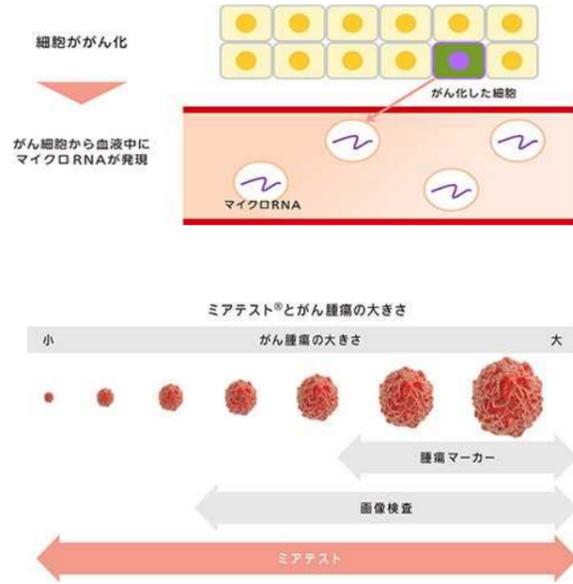
# I. ミアテスト・・・がん細胞等から分泌されるマイクロ RNA の種類や量を検査

## ミアテスト（血液検査）について

### ミアテストで測定するマイクロ RNA とは

マイクロ RNA は、約 22 個の遺伝子情報からなる小さな RNA（リボ核酸）で、エクソソームという小さい粒子に包まれて、細胞や組織から血液中に放出されます。エクソソームは体中に存在しますが、がん細胞などからは特別なエクソソームが放出されるため、早期の段階から疾患のリスク判定に役立てることができます。

ミアテストでは特定のがん患者の血液中でのみ増加している数種類の「マイクロ RNA」という分子を検査します。血中マイクロ RNA 量は、がんのステージや腫瘍の大きさには依存せず変化します。従来は検査とは違い、腫瘍マーカーなど従来の検査が反応する前段階や画像検査で見つけることが難しい 1 センチ以下のがんでも早期発見できる可能性が高くなります。（遺伝子検査ではないので、定期的な検査をお勧めします。）



## より高い精度と疾患特異性の「ミアテストプラチナ」

乳がん、すい臓がん、アルツハイマー型認知症の単独検査の場合、疾患特異的なマイクロ RNA の発現量のみ測定しますが、プラチナ検査 15 項目あるいは 15 項目の中で任意の 3・5・10 項目検査の場合は、血液中の全小分子 RNA 全てのデータを取得し、発現量に加え配列変化も加味して評価するため、より高い精度と疾患特異性を実現できます。

### ミアテストの注意事項

ミアテストはがんやアルツハイマー型認知症のリスクを判定する検査であり、病気の進行度に関係なくリスクを検知します。また、確定診断検査ではないため、リスクが高い場合は医師と相談して精密検査を受けることを推奨します。

ミアテストはがんやアルツハイマー型認知症の疾患に対して高感度でリスクを捉えるためリスクを見逃しにくい検査です。しかし、どんな検査も完全ではありません。擬陽性といって、リスクがないのに「ある」と判定されたり、偽陰性といってリスクがあるのに「ない」と判定される場合もあることをご理解ください。



ミアテストプラチナ検査結果報告書



ミアテスト検査結果報告書

## 検査項目・料金

プラチナ男性 14 項目・プラチナ女性 15 項目	260,000 円（税別）	次世代シーケンス解析
3 項目（下記より 3 項目選択）	150,000 円（税別）	次世代シーケンス解析
5 項目（下記より 5 項目選択）	190,000 円（税別）	次世代シーケンス解析
10 項目（下記より 10 項目選択）	240,000 円（税別）	次世代シーケンス解析
乳がん（単独 PCR 検査）	25,000 円（税別）	PCR 検査
膵臓がん（単独 PCR 検査）	50,000 円（税別）	PCR 検査
アルツハイマー型認知症（単独 PCR 検査）	50,000 円（税別）	PCR 検査

がんの検査部位：①肺②食道③胃④大腸⑤頭頸部（舌）⑥肝臓⑦膵臓⑧腎臓⑨甲状腺⑩脳 ⑪胆のう ⑫前立腺（男性のみ）⑬乳房（男女共）⑭子宮頸部（女性のみ）⑮卵巣（女性のみ）  
がん以外の検査：⑯アルツハイマー型認知症

# II. サインポスト・・・遺伝子を分析し、一度に 12 の生活習慣病等のリスクを評価

## サインポスト遺伝子検査（血液検査）とは

大阪大学医学部と OMRFIT STUDY の研究成果に基づいて開発された遺伝子検査です。71 の遺伝子を分析し、肥満、体内老化、動脈硬化など 12 の生活習慣病や血管性の病気やアレルギー、物忘れなど気になる遺伝的リスクを事前に知ることが可能です。

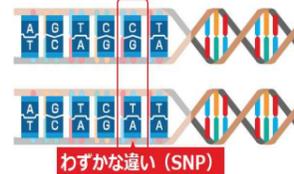
検査項目（検査する遺伝子の数）	検査する遺伝子の主な働き
肥満（7）	脂肪の分解・燃焼・エネルギーへの変換、食欲調節の働き
体内老化（7）	活性酸素の除去及び作成・過酸化水素の分解・脂質酸化の抑制
動脈硬化（8）	血管の傷・炎症をおこしやすくする、善玉ホルモンを作りやすくする 血圧をあげる、新しい血管を作る、血管を固まらせる
コレステロール（7）	コレステロール（悪玉・善玉）の働き・中性脂肪の分解
高血圧（5）	血圧を高くさせやすくする
高血糖（8）	インスリンの働きを低下させる
血栓（5）	血液を回まりやすくする、血栓をできやすくする
アレルギー（4）	アレルギーをおこしやすくする
アルコール（3）	アルコール・アセトアルデヒドを分解する、アルコール依存のしやすさ
非アルコール性脂肪肝炎（7）	肝臓の炎症・脂肪蓄積・酸化をしやすくする、肝臓の代謝
ロコモ：筋力低下（5）	筋力の低下・老化をしやすくする、速筋の働き
もの忘れ（5）	アミロイドβ蓄積の促進、血管を傷つける物質の増加、 コレステロール代謝異常、脳神経細胞修復の弱さ、炎症反応の異常

### 1 つの遺伝子で全て決定するわけではない

一つの遺伝子で個人の体質、病気の進展・発症を決定付ける遺伝病のような遺伝子は極めて稀なもの（遺伝病）です。一般的な個人体質は、複数の遺伝子(SNP)と生活習慣の影響を受けていることが明らかになってきました。従って、一つの遺伝子だけで個人の体質を評価することはできません。

### どうして遺伝子検査で病気のリスクがわかるの？

人間の設計図（遺伝子の配列）は、99.9%が同じですが、残りの 0.1%が個人の違いを生んでいます。この違いを SNP（一塩基多型）と言い、本検査ではこの違いを調べます。



わずかな違い (SNP)

また、大阪大学医学部の研究成果を中心として、多数の日本人データに基づいて評価しています。さらに、測定する遺伝子(SNP)は、科学的根拠が明らかになっており、極めて重要度が高い遺伝子(SNP)だけを採用しております。

ご自身の保有遺伝子 (SNP) に基づくオリジナル報告書 (約 40 ページ) には、遺伝子検査の結果と、それに基づくライフスタイル・推奨される栄養成分などをご提案します。

サインポスト遺伝子検査結果報告書サンプル

## サインポスト遺伝子検査の特徴

- 一度に 12 項目の遺伝子検査
- 一回の血液検査のみ
- 内容の充実した報告書（わかりやすい検査結果と推奨されるライフスタイル、栄養成分をお知らせ）
- 一生に一度の検査（測定する遺伝子は一生変わりません）
- 検査費用 38,000 円（税別）